

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 リミックスポイント
 コード番号 3825 URL <http://www.remixpoint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 栗原 一成
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-6206-2220

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 681 | △37.7 | △96 | — | △117 | — | △108 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 1,093 | — | △250 | — | △259 | — | △366 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | △8,740.71 | — |
| 21年3月期第3四半期 | △44,433.61 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 867 | 171 | 18.2 | 9,816.23 |
| 21年3月期 | 1,294 | △115 | △9.1 | △14,353.88 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 157百万円 21年3月期 △118百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,102 | △24.8 | 8 | — | △6 | — | 5 | — | 311.12 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 16,191株 | 21年3月期 | 8,370株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 120株 | 21年3月期 | 120株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 12,427株 | 21年3月期第3四半期 | 8,250株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機による急激な景気悪化に歯止めがかかりつつあるものの、厳しい雇用状況、円高、デフレの進行など、依然として厳しい状況が続いております。

情報サービス産業界におきましても、依然として厳しさは続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結会計期間において当社グループは、既存顧客との関係強化を図り、受託開発案件の獲得に注力してまいりました。また、防犯関連官公庁向けプロダクトの全国展開を進め関西圏を中心に導入が進んでおります。

売上面においては、依然厳しい状況は続いており売上高は681百万円（前年同期比37.7%減）、利益面においては、固定費等のコスト削減に努め営業損失96百万円（前年同期は営業損失250百万円）、経常損失117百万円（前年同期は経常損失259百万円）、四半期純損失108百万円（前年同期は四半期純損失366百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、867百万円となり、前連結会計年度末（1,294百万円）に比べ427百万円減少となりました。その主な要因は、のれん162百万円の減少、敷金38百万円の減少などによるものです。

負債合計は695百万円となり、前連結会計年度末（1,409百万円）に比べ714百万円減少となりました。その主な原因は、短期借入金323百万円の減少、前受金178百万円の減少、社債64百万円の減少などによるものです。

なお純資産は、171百万円となり、前連結会計年度末（△115百万円）に比べ、287百万円の増加となりました。その主な要因は、第三者割当増資及び新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金372百万円の増加によるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は25百万円となり、前連結会計年度末に比べ、10百万円減少致しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は200百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失102百万円、仕入債務の減少16百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は212百万円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入91百万円、定期預金の払戻による収入100百万円、敷金の回収による収入65百万円、敷金の差入による支出27百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は22百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出422百万円、株式の発行による収入354百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間につきましては、平成21年11月12日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移いたしており、通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸資産の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を主としております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失245,244千円、当期純損失475,565千円を計上し、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失96,665千円、四半期純損失108,620千円計上しました。前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは154,712千円のマイナスであり、当第3四半期連結累計期間においても200,790千円のマイナスとなっております。

当該状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、平成21年6月26日開催の取締役会において第三者割当増資300百万円及び新株予約権31百万円の発行決議を行い、平成21年7月31日に全額入金されており、債務超過の解消及び金融機関への返済を行っております。

また、事業面におきましては前第3四半期以降、子会社不採算事業の売却や雇用調整を含む抜本的な収益確保策の実施を進め、事業所の縮小・移転等、これまで以上に必要最小限のコストでの事業運営に向けた連結経営体制の整備を進め、当第3四半期連結累計期間においては、販売費及び一般管理費が478百万円(前年同期765百万円)と287百万円のコスト改善が進んでおります。また、売上については当第3四半期連結累計期間は前期比37.7%減となっておりますが、この状況を改善すべく、平成21年12月に公表しております「リミックスポイントグループ中期事業戦略2010年「営業元年宣言」」にありますとおり、当社グループがこれまで培ってきた技術や市場のニーズをベースに新たなビジネスを創出し、新たな市場へ拡販を進めるべく、営業力の強化・改善を進めております。

この取組により、当第3四半期連結累計期間においては売上高は前年同期と比較すると減少したものの、販売費及び一般管理費が478百万円(前年同期765百万円)と287百万円のコスト改善が進んでおります。この削減効果等により今期通期計画においても通期で営業黒字を達成する予定です。

しかし、事業面についての対応策は実施途上にあり、景気の動向及び情報サービス産業市況にも影響されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 25,066 | 135,693 |
| 受取手形及び売掛金 | 80,520 | 130,596 |
| 商品及び製品 | 20,876 | 17,577 |
| 仕掛品 | 9,922 | 11,113 |
| 前払費用 | 12,154 | 31,095 |
| 繰延税金資産 | — | 3,812 |
| 未収消費税等 | 3,638 | 5,312 |
| その他 | 27,119 | 29,037 |
| 貸倒引当金 | △93 | △1,223 |
| 流動資産合計 | 179,205 | 363,016 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 33,003 | 18,593 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 475,365 | 637,379 |
| ソフトウェア | 110,053 | 160,166 |
| その他 | 273 | 310 |
| 無形固定資産合計 | 585,692 | 797,855 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 29,915 | 29,740 |
| 長期前払費用 | 9,752 | 17,519 |
| 敷金及び保証金 | 29,840 | 68,002 |
| 固定化営業債権 | 1,223 | 0 |
| 貸倒引当金 | △1,223 | — |
| 投資その他の資産合計 | 69,508 | 115,262 |
| 固定資産合計 | 688,203 | 931,712 |
| 資産合計 | 867,409 | 1,294,728 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 12,538 | 29,378 |
| 短期借入金 | 77,050 | 401,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 129,600 | 129,600 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 29,846 | 32,997 |
| 未払金 | 26,205 | 129,320 |
| 前受金 | 66,234 | 244,967 |
| 預り金 | 9,767 | 15,248 |
| その他 | 28,950 | 37,533 |
| 流動負債合計 | 380,192 | 1,020,045 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 276,000 | 340,800 |
| 長期借入金 | 32,398 | 49,052 |
| 繰延税金負債 | 128 | 52 |
| その他 | 6,713 | — |
| 固定負債合計 | 315,240 | 389,905 |
| 負債合計 | 695,433 | 1,409,951 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 615,663 | 429,575 |
| 資本剰余金 | 535,663 | 349,575 |
| 利益剰余金 | △975,757 | △879,646 |
| 自己株式 | △18,000 | △18,000 |
| 株主資本合計 | 157,569 | △118,496 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 186 | 77 |
| 評価・換算差額等合計 | 186 | 77 |
| 新株予約権 | 14,219 | — |
| 少数株主持分 | — | 3,196 |
| 純資産合計 | 171,976 | △115,223 |
| 負債純資産合計 | 867,409 | 1,294,728 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 1,093,948 | 681,732 |
| 売上原価 | 579,226 | 300,229 |
| 売上総利益 | 514,721 | 381,502 |
| 販売費及び一般管理費 | 765,490 | 478,167 |
| 営業損失(△) | △250,768 | △96,665 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 425 | 149 |
| 還付消費税等 | 808 | — |
| 法人税等還付加算金 | 1,440 | — |
| 保険解約返戻金 | 3,485 | — |
| 雑収入 | 73 | 901 |
| その他 | 338 | — |
| 営業外収益合計 | 6,571 | 1,050 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,601 | 11,193 |
| 株式交付費 | — | 11,088 |
| その他 | 607 | 44 |
| 営業外費用合計 | 15,209 | 22,326 |
| 経常損失(△) | △259,406 | △117,940 |
| 特別利益 | | |
| 子会社株式売却益 | — | 30,401 |
| その他 | 51 | — |
| 特別利益合計 | 51 | 30,401 |
| 特別損失 | | |
| リース解約損 | 519 | — |
| 固定資産除却損 | 2,787 | 109 |
| 事務所移転費用 | 1,341 | 4,832 |
| 特別退職金 | 8,503 | — |
| 事業譲渡損 | 5,899 | — |
| 投資有価証券評価損 | 53,999 | — |
| 和解金 | — | 10,000 |
| 特別損失合計 | 73,051 | 14,941 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △332,405 | △102,480 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,692 | 2,327 |
| 法人税等調整額 | 33,273 | 3,812 |
| 法人税等合計 | 34,966 | 6,140 |
| 少数株主損失(△) | △795 | — |
| 四半期純損失(△) | △366,577 | △108,620 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △332,405 | △102,480 |
| 減価償却費 | 83,342 | 69,974 |
| のれん償却額 | 132,135 | 115,063 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 53,999 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | — | 93 |
| 受取利息及び受取配当金 | △425 | △149 |
| 支払利息 | 14,601 | 11,193 |
| 子会社株式売却損益(△は益) | — | △30,401 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 206,022 | 39,813 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △10,818 | △1,949 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △73,238 | △16,811 |
| その他 | △218,106 | △273,929 |
| 小計 | △144,892 | △189,582 |
| 利息及び配当金の受取額 | 427 | 139 |
| 利息の支払額 | △11,823 | △9,156 |
| 特別退職金の支払額 | △5,718 | — |
| 法人税等の還付額 | 48,741 | — |
| 法人税等の支払額 | △1,207 | △2,191 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △114,472 | △200,790 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △100,000 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 100,000 |
| 貸付けによる支出 | — | △4,395 |
| 貸付金の回収による収入 | — | 1,769 |
| 有形固定資産の取得による支出 | — | △1,882 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △15,390 | △11,953 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | — | 91,002 |
| 敷金の差入による支出 | — | △27,509 |
| 敷金の回収による収入 | 11,991 | 65,646 |
| 子会社株式の取得による支出 | △3,000 | — |
| 事業譲渡による収入 | 7,350 | — |
| その他 | 6,404 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △92,644 | 212,678 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 12,000 | 98,050 |
| 短期借入金の返済による支出 | △84,957 | △422,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △19,304 | △19,805 |
| 社債の償還による支出 | △74,800 | △64,800 |
| リース債務の返済による支出 | — | △356 |
| 株式の発行による収入 | — | 354,882 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 31,514 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △167,061 | △22,515 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △374,179 | △10,627 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 443,857 | 35,693 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 69,678 | 25,066 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、前連結会計年度において営業損失245,244千円、当期純損失475,565千円を計上し、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失96,665千円、四半期純損失108,620千円計上しました。前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは154,712千円のマイナスであり、当第3四半期連結累計期間においても200,790千円のマイナスとなっております。

当該状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、平成21年6月26日開催の取締役会において第三者割当増資300百万円及び新株予約権31百万円の発行決議を行い、平成21年7月31日に全額入金されており、債務超過の解消及び金融機関への返済を行っております。

また、事業面におきましては前第3四半期以降、子会社不採算事業の売却や雇用調整を含む抜本的な収益確保策の実施を進め、事業所の縮小・移転等、これまで以上に必要最小限のコストでの事業運営に向けた連結経営体制の整備を進め、当第3四半期連結累計期間においては、販売費及び一般管理費が478百万円（前年同期765百万円）と287百万円のコスト改善が進んでおります。また、売上については当第3四半期連結累計期間は前期比37.7%減となっておりますが、この状況を改善すべく、平成21年12月に公表しております「リミックスポイントグループ中期事業戦略2010年「営業元年宣言」」にありますとおり、当社グループがこれまで培ってきた技術や市場のニーズをベースに新たなビジネスを創出し、新たな市場へ拡販を進めるべく、営業力の強化・改善を進めております。

このコスト削減及び営業力強化の取組により、今期通期計画においては通期で営業黒字を達成する予定です。

しかし、事業面についての対応策は実施途上にあり、景気の動向及び情報サービス産業市況にも影響されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額に占めるソフトウェア開発関連事業（デジタル画像や映像に関するアプリケーション・ソフトウェアの開発及び周辺サービス事業）の割合が90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、その他の事業（音楽ソフトの流通事業）を平成20年11月に売却しております。当第1四半期連結累計期間より、ソフトウェア開発関連事業の単一セグメントとなっているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年7月31日付で、第三者割当増資の払込、及び平成21年9月8日、9月18日、10月22日付で、新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が176,235千円、資本準備金が176,235千円増加、当第3四半期連結会計期間において資本金が9,853千円、資本準備金が9,853千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が615,663千円、資本準備金が535,663千円となりました。